

表6-7-1 平成20年中の主な住宅用火災警報器の奏功事例

1	発 生 月	発 生 時 間	発 生 場 所
	2 月	18時ごろ	台 所
	概 要 等		
	女性が、ガスコンロに片手鍋をかけ、煮物をしていたがその場を離れたために、過熱された鍋から煙があがり、台所内の住宅用火災警報器が発報したもの。警報音に気付いた家人が、ガスコンロのスイッチを消したものの。		
2	発 生 月	発 生 時 間	発 生 場 所
	2 月	22時ごろ	居 間
	概 要 等		
	男性が居間で吸ったたばこの火種が座布団に落ちたのを気付かずに寝室にいと、座布団が燻った煙で住宅用火災警報器が発報。連動している緊急通報システムにより119番通報されたもの。		
3	発 生 月	発 生 時 間	発 生 場 所
	5 月	11時ごろ	台 所
	概 要 等		
	女性が、台所においてトースターでパンを焼いたまま、その場を離れてトイレに行ったため、パンが焦げて煙があがり、住宅用火災警報器が発報し、連動している緊急通報システムにより119番通報されたもの。		
4	発 生 月	発 生 時 間	発 生 場 所
	7 月	13時ごろ	台 所
	概 要 等		
	女性が、台所においてガスコンロで魚を焼いたまま、それを忘れて風呂に入ったため、魚が焦げて煙が上がり、住宅用火災警報器が発報したもの。警報音に気付いた女性が台所に戻り、ガスコンロのスイッチを切ったもの。		
5	発 生 月	発 生 時 間	発 生 場 所
	12 月	8時ごろ	台 所
	概 要 等		
	女性が、台所においてガスコンロで調理をしたまま、その場を離れていたために、過熱されたフライパンから煙が上がり、住宅用火災警報器が発報したもの。警報音に気付いた女性が、ガスコンロのスイッチを切ったもの。		

※ 緊急通報システム(緊急通報装置連動型住宅用火災警報器)とは、警報器が発報すると消防機関に直接通報されるものです。設置は、障がい者・独居高齢者世帯に設置されています。